

## 出張報告書

尼崎市議会議員 やはた 才カン

日時：令和 8 年 4 月 23 日 13 時 30 分～16 時  
(2026 年)

会場：尼崎市中小企業センター

講師：自治体議会研究所 代表 高沖 秀宜 氏

### 【概要】

#### 議員の資質向上と議会運営の基本

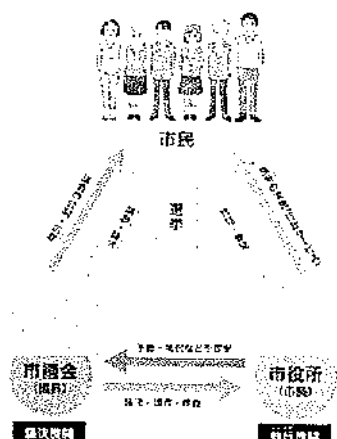
##### (1) 議会の役割

市議会議員は、市民の要望を市政に反映させるため、市議会を構成して市民生活の様々な課題についてきめ細かく議論し、どう処理すべきかを決めています。

このため市議会は議決機関と呼ばれています。

#### 尼崎市議会のしくみと役割

市民の要望を市政に反映させるために、市議会議員、市長、市役所が協力して活動しています。



市長は、運営するため、必要な予算や条例などを市議会に提案し、その議決を受けて市政を進めています。

このため市長は執行機関と呼ばれています。

市議会と市長はお互いに独立した立場から協力し合い市民生活の向上のために活動しています。

## (2) 議会運営の基本

### 「二元代表制」について

- ・市長と議会（議員）を住民が別々に選ぶ（どちらか一方に力が偏りにくい）
- ・権力を分散してチェックし合う仕組み（不正や暴走の抑止につながる）
- ・議会は、首長を監視・批判できる
- ・市長は、議会の決定に対して再議などが可能
- ・住民の意思を細かく反映できる

一方で、

- ・対立すると政治が停滞する（予算が通らない・成立しない）
- ・うまくいかないときに責任の所在があいまいになりやすい
- ・調整や対立によって、時間がかかりコストが増える

## (3) 二元代表制における議会の役割をどう捉えるか

基本的な考え方は、予算の審議・承認、条例の制定・修正、行政の監査・追及  
議会は、住民意思を反映する代表機関であるとともに、条例の提案や修正案の提示、  
政策議論にも関わる。

また、合意形成の場でもあり、対立→交渉→妥協が不可欠

## (4) 議員力・議会力の強化

尼崎市議会基本条例では第6章において議会の機能強化を規定している。

議員力、議会力強化は、議員の能力向上・政策立案機能の強化・行政監視機能の強化  
など二元代表制の下で議会の役割を実質化するための仕組みとして「議会改革」  
としても捉えている。

## (5) 政策提言の原点

二元代表制の議会は、提言も住民起点である必要がある。

現場（住民）から生まれる現実の課題、政策提言の原点は、住民の生活実態や地域問題の認識にあり、議会はこれらを踏まえて政策を構想し行政に提案する。

## (6) 政務活動費の活用

政務活動費とは（地方自治法）第 100 条

議会の議員の調査研究その他の活動に資するための必要な経費の一部として、その議会における会派又は議員に対し、政務活動費を交付することができる。この場合において、当該政務活動費の交付の対象、額及び交付の方法並びに当該政務活動費を充てることができる経費の範囲は、条例で定めなければならない。

## (7) 尼崎市議会議員政治倫理条例について

尼崎市議会議員政治倫理条例は、議員の政治倫理基準を定め、公費の適正使用や品位保持を求めるとともに、市民による調査請求制度や政治倫理審査会、資産公開制度を通じて、議員活動の公正性と透明性を確保し、市民の信頼を維持することを目的としている。



今回、新人議員特別セミナーとして「議員の資質向上と議会運営の基本」を学んだのですが、議員になって3回の定例会を経験した今だからこそ、より深く理解できた研修会でした。

二元代表制において、国会と地方自治との違いなど例えば国会（与党、野党）は、国権の最高機関であること、唯一の立法機関であること、会派は政権をとるために地方自治は、執行機関（首長）議会（与野党関係は想定されていない）は、地方自治の最高機関ではないということ、唯一の立法機関ではないということ、講師の先生は、執行機関と議会（機関競争「対立」主義）で与党・野党設定なし、政策立案・政策提言を議員間で共有できるか？との問いに答えることができませんでした。あくまで自治体議員として会派関係なく市民のために動くことと説かれました。

政務活動費については、交付額の全額を使っているか、全額を使用していない議員や会派が多いのは何故か、政務活動していないのか。

主に広報費で支出ではなく、調査研究費で支出すべき。

返還せずに、全額を適切に使用することと説かれましたが、政務活動費は会派に支給され、無会派議員には使える制限が課せられること、交付額の全額を使っていないから政務活動していないと紐づけるのは、甚だ乱暴な解釈ではないかと思えます。

先生が執筆された第Ⅶ構 「議会事務局改革」第 4 節 政務活動費の対応については

まさにその通りだと思いました。

又、2020年7・14 自治日報 政務活動費の政策的活用についても、問題点などいくつか挙げられていますが、ここ尼崎市においては最近問題となったこともあることから今現在は厳正に取扱われていると実感しています。

